

# 日曜大殿説教

「阿弥陀仏とともに

よき現世、来世のために祈る」

平成三十年八月二十六日（日）午前九時～九時五〇分

天然寺住職 後藤 尚孝

「讃題」

生けらば念佛の功つもり、死なば浄土に参りなん、とて  
もかくてもこの身には思い煩ふことぞなしと思ひぬれば  
死生煩いなし

祈り よき現世、来世のために祈る

おんほとけ

かいげん

くだ

御仏おおせにしたがいて、開眼して下しまいらせ候。阿弥  
陀の三尊つくりまいらせたまいて候なるかな、返すく神妙  
に候。いかさまにも、仏像をつくりまいらせたるは、めで  
たき功德にて候なり。

あなた様のお申し出に従ってお仏像の開眼をしましたので、  
ご返送いたします。阿弥陀仏・観音菩薩・勢至菩薩の弥陀三  
尊をお造りなされましたのは、まったくもって貴いことず。  
とにかく、お仏像を造られるのは素晴らしい功德なのです。

かならず専修せんじゆの念仏は、現当げんとうのいのりとなり候なり。

専らお念仏を称えることは、必ず今生こんじやうにも後生ごじやうにも通じる  
祈りになるものです。

## 滅罪、來迎の功德

かりそめのこの世の果報だにも、さきの世の罪、功德によ  
りて、よくもあしくも生まるる事にて候ぞつひえば、まして往生  
程だいじの大事だいじ、かならず宿善しゆくぜんによるべしと聖教しやうぎやうにも候ぞつひやらん。  
ただし念仏往生は宿善しゆくぜんのなきにもより候ぞつひわぬやらん。

はかないこの世で受ける果報でさえも、前世の罪や功德によ  
つて、よかつたり悪かつたりするのである。まして浄土へ往  
生するなどという一大事なのであるから、これも必ず前世の  
善い行いが要因になる」と経典にも説かれているのではあり  
ませんか。ただし、お念仏を称えて往生することは、前世で  
の行いのよし悪しとは全く関係ないのです

善導ぜんどうの往生おうじょう礼讃らいさんに問うていわく、

阿弥陀仏あみだぶつを称念しょうねん礼観らいかんす

るに、現世げんぜに如何りやくなる功德利益りやくがある。こたえていわく、

阿弥陀仏あみだぶつをとなうる事こと一声いつしやうすれば、八十億劫はちじゅうおっごうの重罪じよを除

滅めつす。

善導大師の『往生礼讃』に「問う。阿弥陀仏の名号を称え、

阿弥陀仏を礼拝し、その姿を想いとどめたならば、現世に

いかなる功德や利益があるのだろうか。答う。阿弥陀仏の

名号をなごう一称いつしやうするだけで、この後、八十億劫という長い歲月、

迷いの世界を巡らなければならぬほどの重い罪の報いが除

かれ滅せられるのである」と述べられています。

おわりの時に、善知識ぜんちしきのすすめによりて、南無阿弥陀仏と、

十声とこえとなうるに、一声いつしやうごとに、おのおの八十億劫おっごうの間生死しやうじに

めぐるべき罪を滅して、往生すと説かれて候めれ。

臨終に、善知識の勧めのままに南無阿弥陀仏と十遍称えれば、

これまで積み重ねてきた罪業の報いとして、これから先、八

十億劫という永い歲月、生き死にを繰り返さなければなら

かったところを、一声々々ごとにその罪の報いが除き消さ

れ、お浄土に往生することが出来ると経典に説かれています。